

登録番号 16 — 009

氏名 下山 陽介

登録番号 18 — 002

氏名 池田 弘志

大阪市地域公共人材活動報告書

記

1. 派遣日時 令和4年7月21日（木）14：00 ～ 16：00
（初回ヒアリング）
2. 派遣団体 にこパパねっと
3. 参加人数 4名（内訳：依頼団体1名、公共人材2名、大阪市民局 1名）
4. 活動内容

（1）派遣内容

団体の活動を知ってもらう為、今まではFacebookなどのSNSを活用して発信したが、それだけでは伝わる範囲に限りがあり、またアカウント乗っ取りなどのリスクもある。団体のこれまでの活動を沿革として振り返る事が出来たり、団体の理念等をより分かりやすく、多くの人に伝えるためのホームページを作成するにあたり助言を行う。

（2）支援内容

派遣初回として開催。団体の方から以下のヒアリングを行った。

① 派遣依頼内容、要望の確認

広報の見直しを図り、掲載内容として予定している団体理念や意義も再考が必要と考えている。団体の現状や今後について包括的に話し合う場を設けたい。

② 主なヒアリング内容抜粋

- 活動開始当初は「パパ向けの子育て支援」が珍しく、団体の特徴としても強みになると考え発信していた。
- 活動を続ける中で、子育てや地域活動もちろんだが、地域における父親の居場所（サードプレイス）としての意味合いが強くなってきている。
- ターゲットとしたいのは「地域活動に興味があるが、後一步が踏み出せないパパ」。そうした人に入り口として気楽に参加を試せる場がある事を知ってほしい。
- 難しく考えずに、やりたいことを続けてパパ向けのコミュニティが広がっていくと嬉しい。そうした集まりの先に、子育て応援や地域活動参加促進があると良い。

所感

初回として概ねの現状とニーズ、目的、ゴールについては明確になったと感じる。団体の方のお話から、当初の依頼内容そのままではなく、もう少し上流からの協議が必要であると感じ提言を行った。次回より参加人数も増えるため、ゆっくりと着実に合意形成を行いながら進めたい。ただし、団体の方の意向としてHPの完成は視野に入れておきたい様子が感じ取れたため、このあたりも含めて着地出来るよう今後の進め方に留意したい。

所感

「にこパパネット」という名前も団体のコンセプトもかなり斬新で他に類を見ない活動を創始した団体の方が、自分の子どもが成長するなかで、「パパ」というキーワードを団体としても自分自身としても今後どう扱っていくのか悩んでいることが、今回の派遣依頼の大元になっている

ように感じた。

地域活動に男性が会長などの役員以外の一プレーヤーとして参加するのは、地域の神社のお祭り以外には、PTA役員か青少年指導員、地域防災リーダーなどに限られていると思うので、「子育て」と絡めながら地域における男性の居場所や地域活動への参加の機会の提供などを行う「ニコパネット」の存在は、地域が持つ強みになっていくような気もする。

とは言え、大上段に振りかぶった評価や今後の活動の先鋭化のようなことは気にしていない様子でもあるので、まずはコアメンバーのもつ活動への思いの出し合いから緩やかに話をしていくことが出来たらと思う。

ホームページについては、発信する中身が明確になってから手法として選択すれば良いことなので、現時点で焦る必要はないが、何らかのプロトタイプが必要なのであれば、検討を考える。